

なぜ1.5倍速で見てもいけないのか

現代の若者は映画やドラマまで1.5〜2倍速で見ている方が増えているという話を耳にしました。私も情報収集のために録画しているニュース番組は1.5倍速で見えています。効率的に多くの映像を見るために倍速再生は非常に有効な手段とも言えますが、メリットばかりではないように感じます。今回は倍速再生がもたらす弊害について考えてみたいと思います。

ビ ジネスにおいて、時短という言葉は非常に大切にされています。納期も短ければ短いほど感謝され、注文から最短10分で届く配達専門スーパーなども注目されています。同じ目標達成でも残業時間が少なく、短い時間で達成している社員の方が会社としてもありがたい存在です。「コストパフォーマンス」から派生した「タイムパフォーマンス」という言葉が流行っているように、とにかく何においても時短が注目される時代です。私も情報収集が目的のニュース番組は、1.5倍速で見ることが短時間でより多くの情報を手に入れています。限られた時間を有効に活用するために、時短という考えは必要だと思えます。

スマートフォンの普及により、複数のSNSや気になる動画コンテンツを見ることに時間を使っている人が増えてきました。育った環境は人間形成に大きく影響しますので、何を見て、何を聞いて、感動したかの蓄積で価値観や感性が作り上げられます。現代では、親と話すよりスマホの画面を見ている時間の方が長い方もいると思います。

たくさん人の映像を見るために倍速再生しているためか、大変せわしない人が増えてきているように感じます。

先日、弊社の社員が新たに「歴史に学ぶリーダーシップ講座」を作成したので、開講のための最終試験を実施しました。非常に優秀な社員で内容も素晴らしかったですが、内容が少し高尚すぎたので、小学生にも理解できる内容に作り変えてほしいと思いい、一度不合格としました。

しかし、内容以上に気になったのは妙に早口だったことです。もしかしてと思い確認したところ、普段1.5〜2倍速で映像を見ることが非常に多いとのことでした。向上心が高く、勉強熱心な社員なので、少しでも効率的に多くの学びを得るために考えた行動だと思いい、合点がきました。

情

報収集の観点で倍速再生は非常に効率的な手段です。しかし、リーダーとして前に出て講師をする場面を考えたときに、1.5倍速でばかり映像を見ていると相手を惹きつけるための間や話のリズム



が崩壊してしまう危険性があるのです。映画やドラマには、制作者が何かを伝えるために意図的に入れている間があります。この間があることで情緒を感じることができるので、ただの無音の時間ではありません。リーダーは聞こえないもの、見えないものを想像して忖度したり、惻隱の情を込めて相手と接することが必要で、これらを学べるのが間です。効率重視で倍速にして間を消してしまうのは、貴重な学びの機会を失ってしまうことと同じです。

コロナ禍で普及したオンラインは、移動や着替えの必要がなく、効率を考えると素晴らしい手段です。しかし、聞こえてくる情報は同じでも、会場の空気や熱量を感じることができません。自分の成長を考えるとであれば、時間とお金を使ってでも直接会場に足を運ぶことをおすすめします。

効率ばかりに目を向けてしまうと大切なものを見失ってしまいます。効率よりも効果を考えて、何事もバランスよく活用して学んでいけば、素晴らしいリーダーへと成長できると思います。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。ブータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせない」(講談社)、「応援される人」になりなさい」(ワック)がある。